

## 18 非営利組織とお金

### ～出し手と受け手の「意志」をひとつに～

#### ○開催目的

NPO など非営利組織が外部から得る資金には、助成金・補助金、寄付金、融資金などが挙げられます。これらをバランスよく得るには、資金の出し手と受け手における「意志」の合致が重要となります。

この分科会では、助成金・融資金の活用事例を学び、資金の出し手と受け手の「意志」を共有する場を提供します。

#### ○開催日時

2月14日（日） 10:00～12:30

#### ○参加人数・出演者・団体

参加人数：28名（プログラム参加者21名、出演者4名、スタッフ3名）

出演者：丹保 有充さん（公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団 事務局長）

赤星 裕美さん（NPO 法人彩結び 代表）

内田 智子さん（認定 NPO 法人 ESA アジア教育支援の会）

笹沼 佑規さん（中央労働金庫）

#### ○プログラム（内容）・成果と課題

##### 1) アイスブレイク

分科会に参加した動機を共有するワークや、お金に関するクイズを行い、参加者同士の交流を図りました。

##### 2) 出演者による事例発表

###### ①助成金の出し手（丹保 有充さん）

助成財団が応募団体に期待することや、申請書を書くうえでのポイントについて説明しました。助成財団にとっての助成先は、社会課題を解決するためのパートナーです。

###### ②助成金の受け手（内田 智子さん）

助成金を得るまでの道のりや助成金の活用事例を発表しました。また、人件費や事務所経費が、助成金の使途として認められないケースが多い点などの課題を提起しました。

###### ③融資金の出し手（笹沼 佑規さん）

金融機関による審査のチェックポイント、融資を利用するうえで心掛けておき

たい事項を説明しました。そして、NPO 向け融資の現状や課題について言及しました。

④ 融資金の出し手（赤星 裕美さん）

法人の立ち上げ時に融資を利用したきっかけや、融資を利用するメリットを話しました。また、融資担当者によって NPO への理解度に濃淡があるなど、金融機関への課題を提起しました。

3) 感想共有・質疑応答

事例発表を聞いた感想の共有と、発表者への質疑応答を行いました。

4) グループワーク・まとめ

分科会に参加して学んだことやこれから取り組みたいことを共有するワークを行いました。各グループには助成財団や金融機関の方が参加し、資金の出し手と受け手の意志を共有する場となりました。

## ○参加者の声

- 助成金や融資金を得るには、事業の将来性やプロセスを上手に伝える技術が求められると感じました。
- ボランティアセンターに勤める自身の立場で、助成金や融資金の活用を検討している団体の方に、どのようなアドバイスができるかを考える機会となりました。
- 現在大学生の私にとって、NPO への就職や NPO の設立を目指すうえで参考になることが多くありました。
- 資金の出し手と受け手の意図することや課題について、具体的なお話をたくさん聞くことができ、大変勉強になりました。

## ○担当・記録

《担当》	笹沼 佑規（中央労働金庫）
	内田 智子（認定 NPO 法人 ESA アジア教育支援の会）
	熊谷 紀良（東京ボランティア・市民活動センター）
《記録》	笹沼 佑規（中央労働金庫）
	神元 幸津江（いたばし総合ボランティアセンター）

